

2024年3月18日(月)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：(JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

🎫 2024年3月18日(月) 9:00 ~ 11:40 🏢 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-1am] (JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

9:00 ~ 11:40

[A1421-1am]

(JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

併催シンポジウム | コラボレーション企画：(JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

🎫 2024年3月18日(月) 13:00 ~ 15:40 🏢 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-1pm] (JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

13:00 ~ 15:40

[A1421-1pm]

(JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム 2024

🎫 2024年3月18日(月) 13:00 ~ 15:40 🏢 G01(階段教室 大)

[G01-1pm] 天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム2024

13:00 ~ 15:40

[G01-1pm]

天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム2024

2024年3月19日(火)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：ERATOニューロ分子技術：成果と展望

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)
[A1421-2am] ERATOニューロ分子技術：成果と展望

9:00 ~ 11:40

[A1421-2am]

ERATOニューロ分子技術：成果と展望

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

2024年3月19日(火) 13:00 ~ 15:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)
[A1421-2pm] メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

13:00 ~ 15:40

[A1421-2pm]

メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 会場 G01(階段教室 大)
[G01-2am] 論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

9:00 ~ 11:40

[G01-2am]

論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

2024年3月20日(水)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

📅 2024年3月20日(水) 9:00～11:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)
[A1421-3am] 「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

9:00～11:40

[A1421-3am]

「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

併催シンポジウム | コラボレーション企画：化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

📅 2024年3月20日(水) 13:00～15:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)
[A1421-3pm] 化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

13:00～15:40

[A1421-3pm]

化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：ケミカルレコード・レクチャー 2024

📅 2024年3月20日(水) 10:30～11:40 📍 G01(階段教室 大)
[G01-3am] ケミカルレコード・レクチャー 2024

10:30～11:40

[G01-3am]

ケミカルレコード・レクチャー 2024

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：第104春季年会 市民公開講座

📅 2024年3月20日(水) 13:00～15:40 📍 B1326(13号館 [2階] 1326)
[B1326-3pm] 第104春季年会 市民公開講座

13:00～15:40

[B1326-3pm]

第104春季年会 市民公開講座

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

📅 2024年3月20日(水) 13:00 ~ 15:40 📍 G01(階段教室 大)

[G01-3pm] 第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

13:00 ~ 15:40

[G01-3pm]

第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

2024年3月21日(木)

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

🎫 2024年3月21日(木) 9:00 ~ 11:40 🏢 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-4am] メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

9:00 ~ 11:40

[A1421-4am]

メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

併催シンポジウム | コラボレーション企画：全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

🎫 2024年3月21日(木) 13:00 ~ 15:40 🏢 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-4pm] 全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

13:00 ~ 15:40

[A1421-4pm]

全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

併催シンポジウム | コラボレーション企画：(JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

2024年3月18日(月) 9:00 ~ 11:40 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-1am] (JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

さきがけ「自在配列」領域の公開シンポジウムを開催いたします。本さきがけ研究領域は、2020年10月に立ち上がり、原子や分子を自在に結合、配列、集合する手法を駆使して、新しい物質や構造体を生み出し、その構造がもたらす新しい特性や機能を引き出すことにより、革新的な物質科学のパラダイムを構築することを目指しています。今回のシンポジウムでは、2021年度採択課題を中心に、研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。ご期待ください。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-1am]

(JST)さきがけ「自在配列」領域 公開シンポジウム

併催シンポジウム | コラボレーション企画：(JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

📅 2024年3月18日(月) 13:00 ~ 15:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-1pm] (JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

CREST「革新的反応」の研究成果報告会を開催いたします。2018年10月に立ち上がりました本領域は、電気や光等のエネルギーを積極的に利用する革新的反応技術を創出することに挑戦しています。今回のシンポジウムでは、2020年度採択の4課題の研究成果に加えまして、本領域の最新のトピックス3テーマを紹介いたします。いずれも革新的な研究成果です。ぜひご参加ください。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-1pm]

(JST)CREST「革新的反応」研究成果報告会

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム 2024

📅 2024年3月18日(月) 13:00 ~ 15:40 🏢 G01(階段教室 大)

[G01-1pm] 天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム2024

中西シンポジウムは、日本化学会と米国化学会との取決めにより偶数年度は日本で、奇数年度は米国にて選考されるナカニシ・プライズの受賞講演を含み、該当国で交互に開催され今回で26回目となります。

本プライズは生物活性天然物の単離、構造解析、生物機能、生合成および全合成分野での顕著な研究業績を対象に選考され、本年度は本化学会に設置された選考委員会によって、磯部 稔氏(名古屋大学名誉教授)に授与されることに決定しました。この度の受賞理由である「天然有機化合物の化学合成を基盤とした重要な生物学的事象の機構解明」に基づき、受賞者による講演に加えてこれに関連する最新の研究成果を周辺分野の研究者に紹介していただきます。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[G01-1pm]

天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム2024

併催シンポジウム | コラボレーション企画：ERATOニューロ分子技術：成果と展望

📅 2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-2am] ERATOニューロ分子技術：成果と展望

2018年秋から神経／脳科学へ貢献する化学の開拓を目指して、JST/ERATOニューロ分子技術プロジェクトがスタートし、最終年度を迎えようとしている。脳は高度な生命活動の中枢であり、またその破綻は認知症や精神疾患などの疾病に繋がるため、基礎サイエンスから応用まで、幅広い分野と繋がる重要な研究分野である。我々は、神経伝達の根幹を担う神経伝達物質受容体と呼ばれる膜タンパク質を中心標的として、可能な限り脳内の3次元ネットワークを維持したままでの、化学修飾やイメージング解析、制御・介入を可能とする分子技術の開拓に悪戦苦闘してきた。本企画では、脳内での受容体イメージングや制御、オミクス解析に資する分子技術の開発とその応用の現状を紹介し、未踏のフロンティアでもある脳神経系への化学的アプローチの将来に関しても、化学会の皆様と議論する場を提供させて頂きたい。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-2am]

ERATOニューロ分子技術：成果と展望

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

📅 2024年3月19日(火) 13:00 ~ 15:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-2pm] メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

学術変革領域研究A「メゾヒエラルキーの物質科学」（領域代表：矢貝史樹）が始動した。本領域では、メゾヒエラルキー領域で階層構造を持つ機能物質群（メゾヒエラルキー材料）を創製するための学理構築・新機能開拓を目指している。しかし、世界的に見てもメゾヒエラルキー材料をどのように構築するかに関する方法論は確立されておらず、その特異な構造を利用した新規機能開拓はほとんど行われていない。そこで本企画では、まず、メゾヒエラルキー物質とは何かを紹介する。次に、化学・物理・計測・理論など、様々な背景を持つ研究者が、「メゾヒエラルキー物質の学理構築・新機能開拓」に向けてどのようなアプローチを採っているのか、その一端を紹介する。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-2pm]

メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製に向けたアプローチ

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

📅 2024年3月19日(火) 9:00 ~ 11:40 📍 G01(階段教室 大)

[G01-2am] 論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

第104春季年会において論説フォーラムを開催いたします。

2005年から化工誌に「論説」が創設されて以来、これまで200篇余に及ぶ論説で「人材育成」「科学思想」「政策提言」「化学産業競争力」「大学・研究機関の体制」「科学と社会」「国際化」と様々なテーマで議論を繰り広げてきました。今回の論説フォーラムでは2023年化工誌「論説」で特に盛り上がったテーマから「起業」をピックアップし、「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」と銘打ち、講演者の方々から個々の経験を基に20分間程度ご講演いただき、徹底討論いたします。学生会員を含め、多数のご来場とご意見を歓迎いたします。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[G01-2am]

論説フォーラム「学術研究からイノベーションへ、大学発スタートアップとその挑戦」

併催シンポジウム | コラボレーション企画: 「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

📅 2024年3月20日(水) 9:00 ~ 11:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-3am] 「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

学術変革領域研究(B)「遅延制御超分子化学」は、分子からマクロスケールまで、自然界で広く見られる「遅延によって制御される機能と高次構造」から着想し、速度論制御を利用して機能的な非対称構造を人工構築する超分子化学の、基礎学理を構築することを目的とする研究領域です。分子スケールの非対称構造を有するタンパク質の構造構築原理を明らかにする生物物理学研究、細胞・オルガネラスケールの非対称構造の構築原理と機能を明らかにする分子生物学研究、生命に見られる非対称構造構築原理を物質合成と機能創出に導く材料科学研究を行ってきました。本企画では、本領域研究の成果を報告させていただくとともに、「遅延」から創られる生命機能と高次構造について化学の視点から広く討論し、「遅延制御超分子化学」のさらなる可能性と展望について議論する機会したいと思います。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-3am]

「遅延制御超分子化学」成果報告会 ～遅延から創る生命機能と高次構造～

併催シンポジウム | コラボレーション企画：化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

2024年3月20日(水) 13:00 ~ 15:40 会場 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-3pm] 化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

本シンポジウムでは、学術変革領域研究(A)「潜在空間分子設計」が提唱する化合物潜在空間（Latent Chemical Space）について議論します。この空間は、主に天然物を対象として網羅的に取得した生物活性データを基に、深層学習等の情報科学的手法によって創成されるものです。本領域はケミカルバイオロジー・有機合成と情報科学の協働により、この新たな空間を構築、検証し、さらに駆使することで、生物活性分子の能動的設計の実現を目指しています。本領域概要を説明の後、領域参画者および共同研究者の方々から潜在空間分子設計を指向した関連研究成果について紹介頂き、今後の展望について議論を行いたいと思います。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-3pm]

化学と情報科学との協働による潜在空間分子設計への挑戦

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：ケミカルレコード・レクチャー 2024

📅 2024年3月20日(水) 10:30 ~ 11:40 🏢 G01(階段教室 大)

[G01-3am] ケミカルレコード・レクチャー 2024

論文誌 The Chemical Record(TCR)は、2011年から日本化学会の雑誌としてリニューアルした。Wiley-VCHとの提携によりインパクト・ファクター (IF 2022) は6.6となり、高いIFを維持している。

今回はProf. Véronique Gouverneur (University of Oxford) を講師としてお招きしTCR Lectureを開催する。

[プログラム](#)はこちら

10:30 ~ 11:40

[G01-3am]

ケミカルレコード・レクチャー 2024

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：第104春季年会 市民公開講座

📅 2024年3月20日(水) 13:00 ~ 15:40 📍 B1326(13号館 [2階] 1326)

[B1326-3pm] 第104春季年会 市民公開講座

日本化学会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画しました。今回も私たちの生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[B1326-3pm]

第104春季年会 市民公開講座

併催シンポジウム | 本会委員会主催シンポジウム：第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

📅 2024年3月20日(水) 13:00 ~ 15:40 📍 G01(階段教室 大)

[G01-3pm] 第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

化学用語検討小委員会では、おもに高等学校教科書と大学入試で使われてきた用語等のうち、用法に疑問を感じるものについて検討し、その「望ましい姿」を提案してきた。2015年～2017年には、高等学校「化学基礎」および「化学」の範囲の用語等についての提案を、本会からの提案として機関紙（「化学と工業」、「化学と教育」）に3回に分けて公開した。

その後、各教科書が改訂された際に、改訂版に提案がどの程度反映されているかを追跡した結果を報告するとともに、新学習指導要領と提案との関わりを話題にしながら、今後の展望について共有したい。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[G01-3pm]

第30回化学教育フォーラム：化学用語検討小委員会の取組と学習指導要領

併催シンポジウム | コラボレーション企画：メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

🎫 2024年3月21日(木) 9:00 ~ 11:40 🏢 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-4am] メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

メカノケミカル有機合成は、反応溶媒をほとんど使わずに、ボールミルなどの攪拌装置を用いて有機合成反応を実施する新しい技術である。メカノケミカル有機合成では、幅広い反応に対して反応溶媒が大幅に削減でき（例：15分の一）、さらに反応時間も短縮できる（例：300分の一）。また有機合成で扱いにくい溶解性の悪い化合物を反応させることができるなど、有機合成を大幅に進化させるポテンシャルを持っている。このメカノケミカル有機合成は、社会で活用されてこそ、その真価を発揮する。しかし、ヨーロッパを中心に事業化へ大きな興味を持たれているのに対し、日本ではまだ活用が進んでいない。本企画は、メカノケミカル有機合成の社会実装にむけた情報交換や議論を深めることを目的とする。

[プログラム](#)はこちら

9:00 ~ 11:40

[A1421-4am]

メカノケミカル有機合成を企業で活用するために

併催シンポジウム | コラボレーション企画：全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

📅 2024年3月21日(木) 13:00 ~ 15:40 📍 A1421(14号館 [2階] 1421)

[A1421-4pm] 全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム

全固体電池で実用的な性能を達成するためには、電池材料を稠密化して材料間の界面面積を拡大するとともに、この界面のイオン伝導を良好なものにする必要があります。これらの要請を両立するためには、個々の電池材料を接合するためのサイエンスの構築が不可欠です。文部科学省「材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業 (Materealize)」におけるプロジェクト「全固体電池を実現する接合プロセス技術革新」では、酸化物型全固体電池におけるプロセスサイエンスに関するシンポジウムを行います。3回目の開催となる今回のシンポジウムでは、実用材料として期待されるガーネット型電解質に関する話題を中心に、招待講演とプロジェクト成果の紹介を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

[プログラム](#)はこちら

13:00 ~ 15:40

[A1421-4pm]

全固体電池のプロセスサイエンス 第3回シンポジウム